



認定NPO法人 育て上げネット

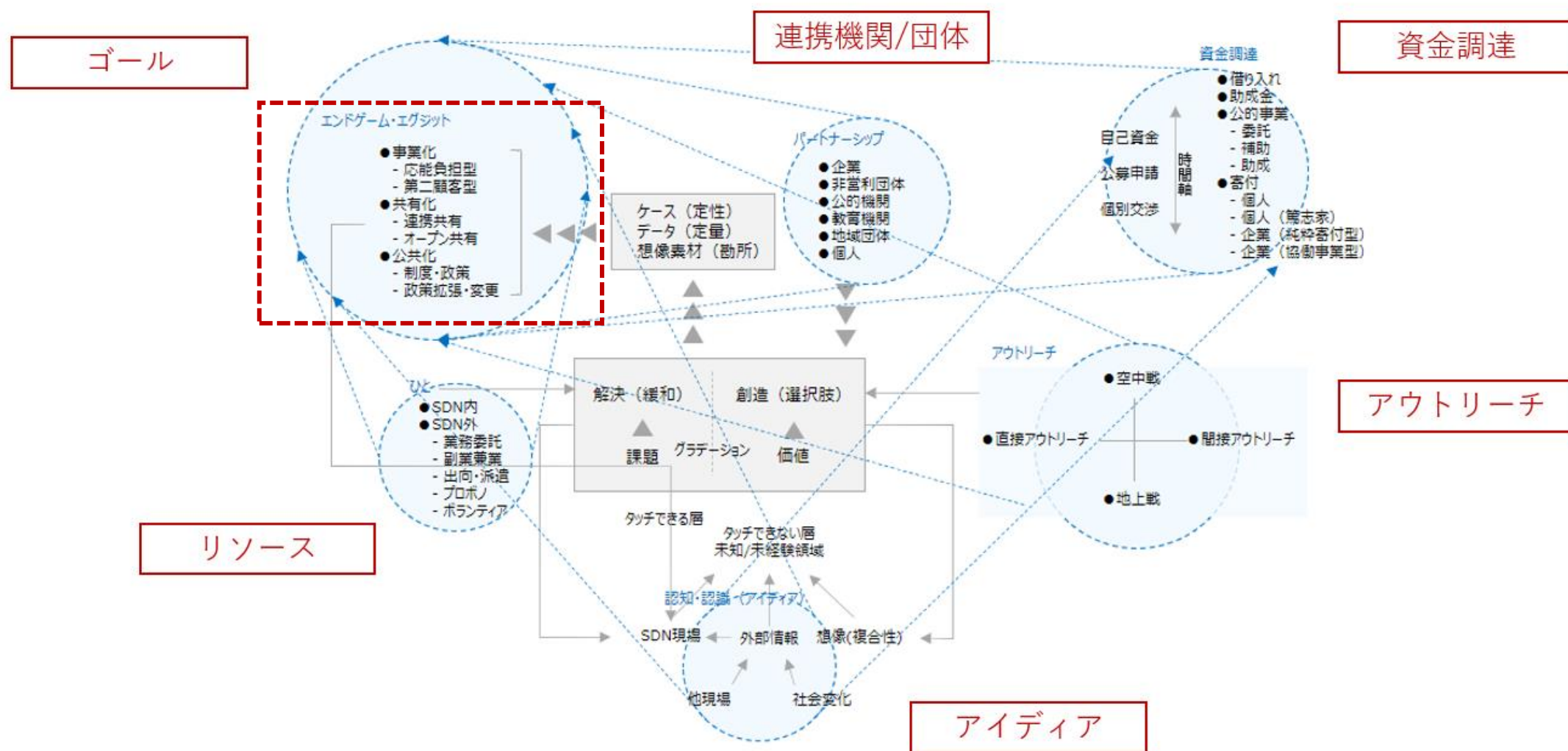
日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

2022年度PO研修

出口戦略・持続化戦略について

認定NPO法人育て上げネット
理事長 工藤 啓

出口戦略・事業化戦略 – あれも出口、これも出口 –



事業化

- 新規で事業化する
 - └応能負担型：受益者がサービスや製品に対してコストを負担する
 - └第二顧客型：受益者以外の誰かがコストを負担する
 - └その他
- 既存事業で事業化する
 - └既存事業にインストールする
 - └既存事業を拡充する（知見・ノウハウでより豊か／充実したものにする）

共有化

- 共有する
 - └ある領域やエリアの連携団体などと共有する
 - └社会に対してオープンな形で共有する
 - └経験を積んだ人材が、他の業界分野で活躍する
 - └その他

公共化

- 公共化する
 - └法律・制度・政策を作っていく
 - └法律・制度・政策を変更・拡張する
 - └その他



事業設計段階からねらってやることもあれば、事業運営をしている間に、気づきを得て出口を追加、変更したりすることもあります。

というか、休眠預金事業のように新たな領域を切り開いたり、社会に不足している部分を充実させるチャレンジ事業であれば、当初計画から変わって当たり前ですよネ・・・。

ので、いろいろな出口の引き出しがあることを助言してくれる存在は、休眠預金事業に限らず非常に貴重です。

出口戦略・事業化戦略 - 参考事例 -

問題意識	弊害	チャレンジ	わかったこと	事業成果	出口は	根拠は
実費負担の原則は、本当に正しいのか	交通費が拠出できる若者しか参加できない	交通費を出してみたらどうなるか検証	これまで参加を見送った若者（特に女性）がいた	プログラム参加者増加と、実際に就労につながった	①既存事業にインスツール(原資は寄付) ②政策変更	現場の実例ベース
対面ができなくてもオンラインでやれることがあるはず	対面性の制約により支援しづらい	オンラインでやってみる パソコン/通信Wifiの貸与	全部でなくても、できることがある	●やればできることがある ●新規の受益者増加	政策の拡充 (柔軟運用)	オンライン化しての動きを可視化 (厚労省担当者が閲覧)
夜間帯の居場所が必要	繁華街などリスクのある場に行くしかない	夜の居場所を全国で設置（休職事業）	夜だから来る若者がいる	●公共につながらない若者との接続 ●孤独孤立の低減	①新規事業 ②政策提言	休職預金を活用する際に、全国でアンケート調査

社会課題の発見



課題解決のモデル作り



課題/問題の社会化 ↳ ソーシャルプロモーション



問題解決の社会実装

- ↳ 事業化
- ↳ 共有化
- ↳ 公共化

現在動かしているもの

- ・夜の居場所を必要としている若者
- ・目的性を持たない空間

- ・夜のユースセンター事業
 - ↳ 目的性を持たない空間
 - ↳ 年間延べ1,000名利用
 - ↳ 全国10か所で連携展開

- ・「ト横」「グリ下」など夜の繁華街の問題
- ・孤立/孤独対策
- ・エビデンスの獲得

- ・返礼品なしのふるさと納税の設定
 - ↳ ガバメントクラウドファンディング事業化
 - ↳ マンスリーサポーター（事業化）
 - ↳ 新規設置 + 既存施設の拡充（公共化）



孤独な夜を照らす光を—家にいたくない若者の居場所をみんなで作りたい

<https://readyfor.jp/projects/night-youth>

参考資料

事業アプローチ: 事業化, 共有化, 公共化

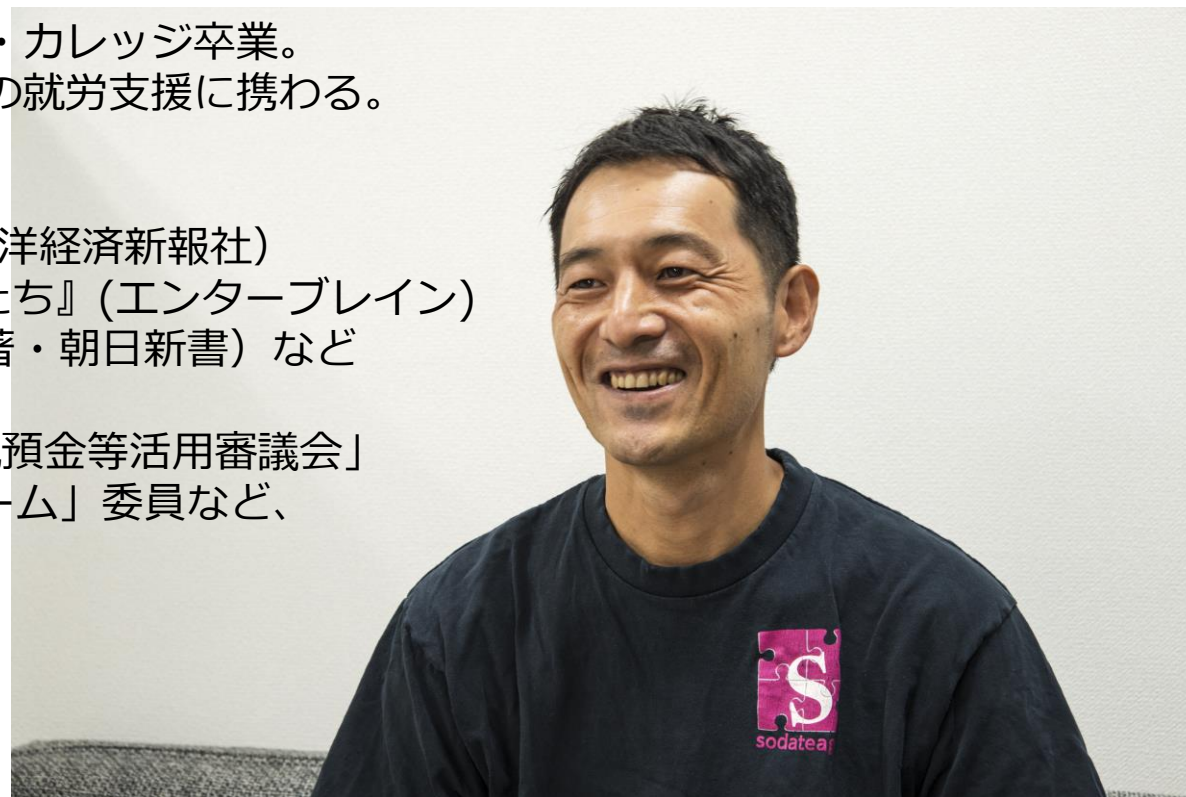


自己紹介

工藤 啓（くどう けい）

＊認定NPO法人育て上げネット 理事長

- 1977年、東京生まれ。米ベルビュー・コミュニティー・カレッジ卒業。
2001年に任意団体「育て上げネット」を設立し、若者の就労支援に携わる。
2004年にNPO法人化し、理事長に就任。現在に至る
- 著書に『NPOで働く- 社会の課題を解決する仕事』（東洋経済新報社）
『大卒だって無職になる——“はたらく”につまずく若者たち』（エンターブレイン）
『無業社会 働くことができない若者たちの未来』（共著・朝日新書）など
- 金沢工業大学客員教授。「一億総活躍国民会議」「休眠預金等活用審議会」
「就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム」委員など、
内閣府、厚生労働省、文部科学省委員歴任。
- 長男次男、双子の三男四男の父親



さまざまな生きづらさを持つ若者と暮らしをともにしながら自立を支援する家庭に生まれる



ご結婚やご出産などで、涙ながらに退職する大人を見る



海外留学中、若者支援の先進地に視察に行く
↳ ソーシャルインベストメント
↳ 現地の先端事例と家業が類似



若者支援が、安定した「仕事」になるには社会性と事業性の両立が重要で、NPO法人の経営を志す



育て上げネット設立記

<https://note.com/sodateagenet/n/n869ea911f394>

団体・活動紹介

ビジョン
めざす社会

ミッション
果たすべき使命

アクション
具体的な取り組み
(業務内容)

すべての若者が社会的所属を獲得し
「働く」と「働き続ける」を実現できる社会
※社会的所属：「安心」を実感し、「挑戦」できる関係性を有する場

若者と社会 / 社会と若者をつなぐ

- ①子ども・若者・保護者への直接支援活動
- ②現場データに基づく研究・開発や、人材育成による支援基盤強化
- ③若者支援の世界を豊かにするための様々な資源調達モデルづくりや、「若年無業者白書」の作成や政策提言による「生態系創出」活動

【直接支援】

- ・若年者就労基礎訓練プログラム「ジョブトレ」
- ・オンライン若者就労支援プログラム「アトオシ・オンライン」
- ・子どもの将来相談窓口「結（ゆい）」
- ・地域若者サポートステーション等、行政と協働した若者支援事業
- ・主に高校生を対象としたセーフティネット・キャリア教育支援事業
- ・主に小・中学生を対象とした「まなびタス」事業（教科学習+α）

【支援基盤強化】

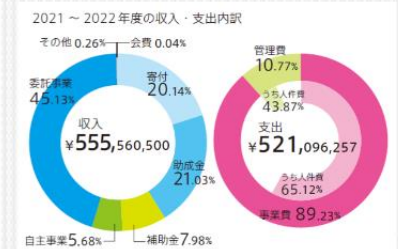
- ・支援者育成事業
- ・研究開発事業

【生態系創出】

- ・政策提言
- ・企業連携
- ・他の支援領域とのネットワーク
- ・ファンドレイズ

財務状況と活動規模

■財務状況



■活動規模

受益者数 **72,059**人 (2021.8-2022.7)



若者支援事業

若者に提供する就労基礎訓練プログラム



2004年の創業以来、ひきこもりや無業のなど、働きづらさを抱える若者への就労支援を実施。行政や企業と連携しながら、年間約2,000名の若者が新規で訪れる。

現場で得られた知見をオープンに、政府や行政とのかかわりを通じて法律や政策形成にもつなげている。

教育支援事業



学習支援事業



保護者支援事業



予防的な活動として定時制や通信制などの年間約100校の高校と連携して学生を支援するとともに、生活保護や生活困窮家庭などの小中学生を年間約100名ほど、学習と生活面で支援している。

また、子育てに悩む保護者向けの事業では、日本国内外からの相談を受け、家族を入り口に若者や子どもたちと接点を作っている。

みなさまへのお願い

☑ 周囲に伝えていただく

- └ 困っている若者、子どもたち、そのご家族が持つ情報、選択肢が限られています
- └ カフェ、居酒屋、SNSなどで、ぜひ情報の発信者になってください

☑ 現場に足を運んでください

- └ 社会課題は「知ること」から始まります
- └ 若者や子どもたちの領域に限らず、育て上げネットに限らず、ご関心のある現場に足を運んでみてください

☑ 余裕があればご支援ください

- └ 困っている若者や子どもたちを支えるために寄付を通じた応援者になってください
- └ いつか彼ら、彼女らは、社会課題の解決に取り組む担い手、それを支える応援者になります



寄付者の方々に支えていただき、活動しています

若者、子どもたちの「今」を、「未来」を寄付で応援してください

・ <https://fr.sodateage.net/wp/frlp/>



育て上げネット

東京都認定
創業17年の若者支援NPO

継続して寄付する

今回のみ寄付する

10年後の未来を守ることができるのは
「今」を支えることができる私たちです

子どものころの「できなかった」は取り戻すことができません。
小学3年生から49歳まで途切れることなく伴走する「育て上げネット」を応援してください

